

令和8年度水稻害虫トラップ情報（7月中旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

（1）予察灯

誘殺数は、7月2半旬以降青森が平年並～多く、八戸が平年より多く推移している。

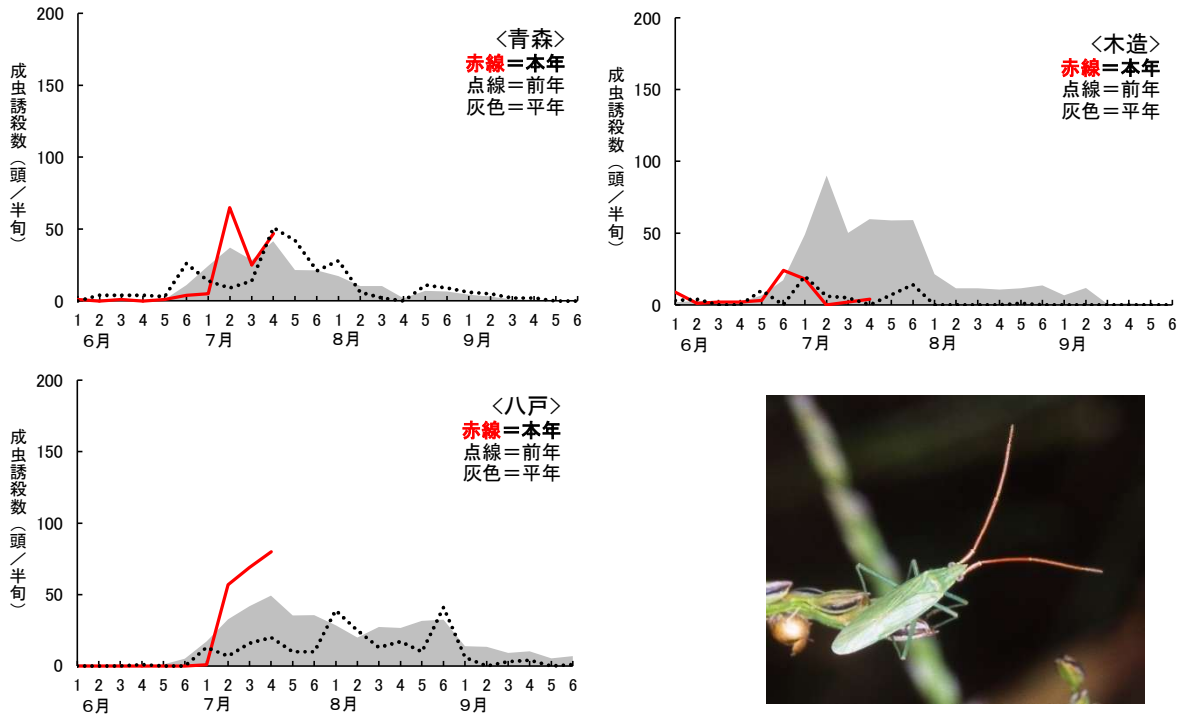


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

（2）性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、いずれの地点も増減はあるものの平年並～少なく推移している。

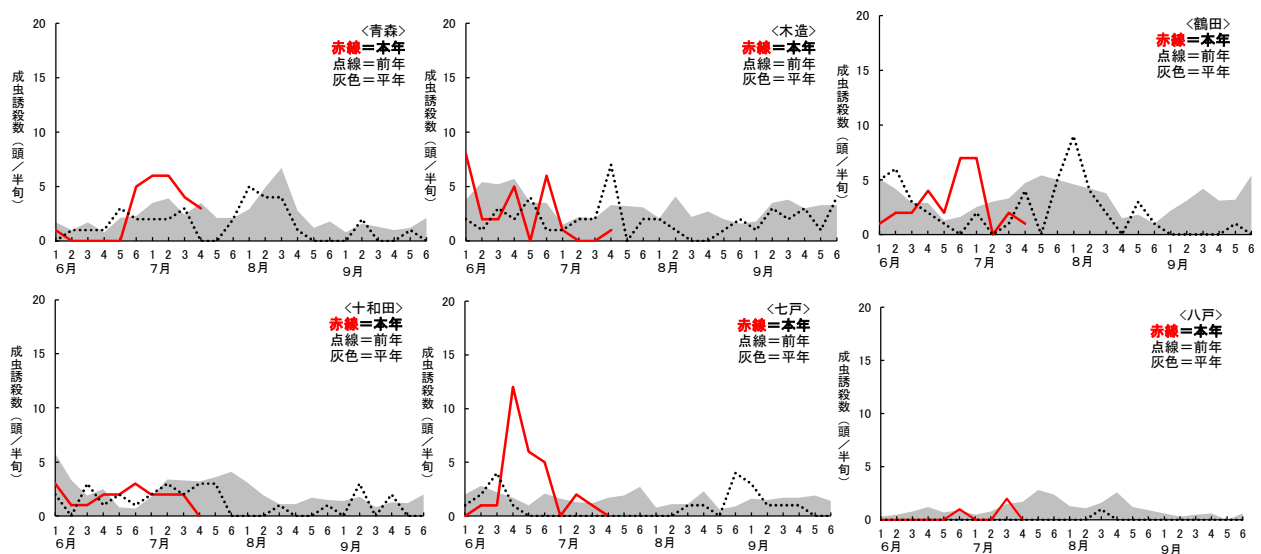


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

誘殺数は、八戸が平年並～少なく推移している。木造において7月4半旬（欠測値を含まない）に平年よりやや多くなっている。

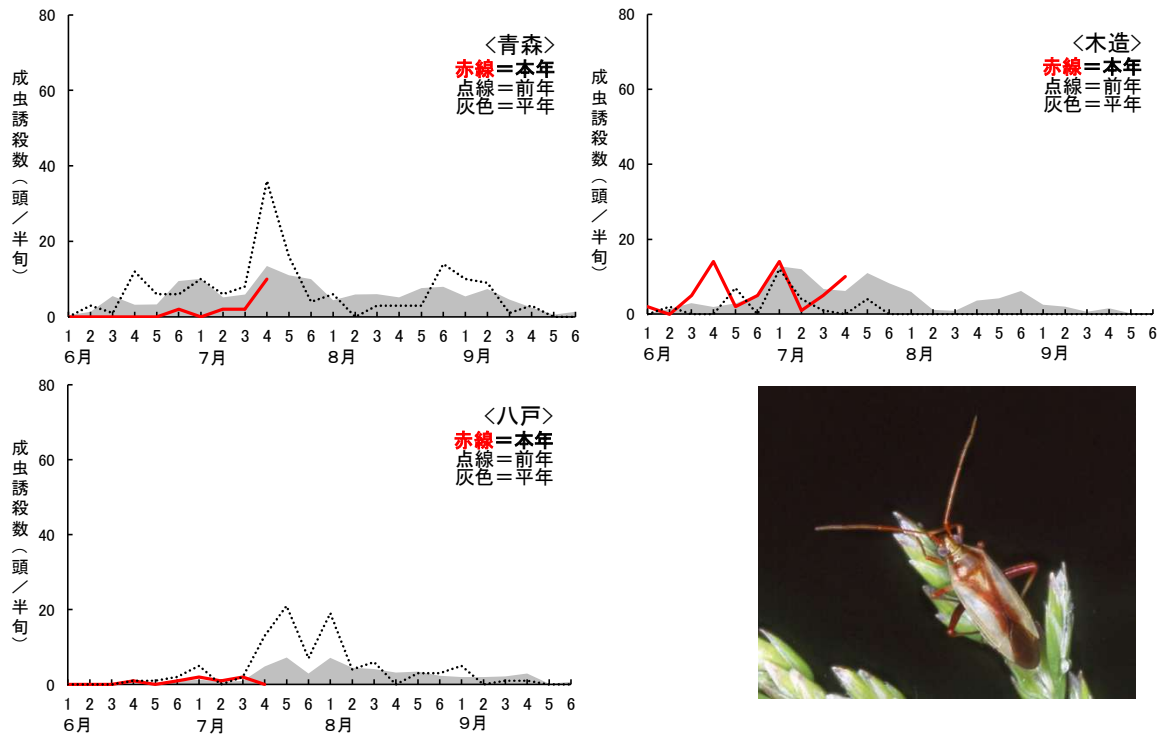


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、七戸が平年よりやや多く、その他の地点が平年並～少なく推移している。

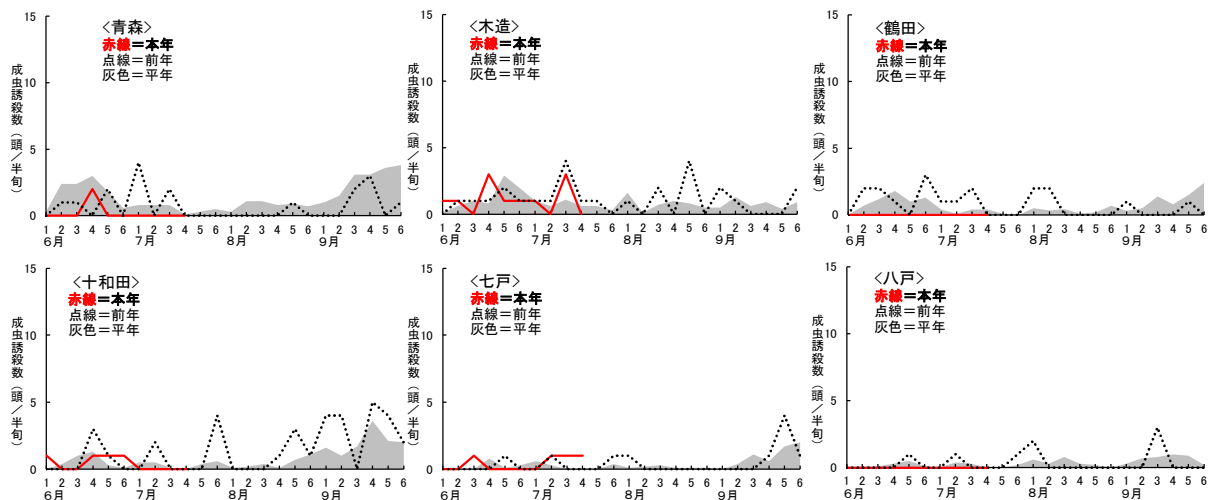


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

誘殺数は、青森が平年並、その他の地点で平年より少なく推移している。

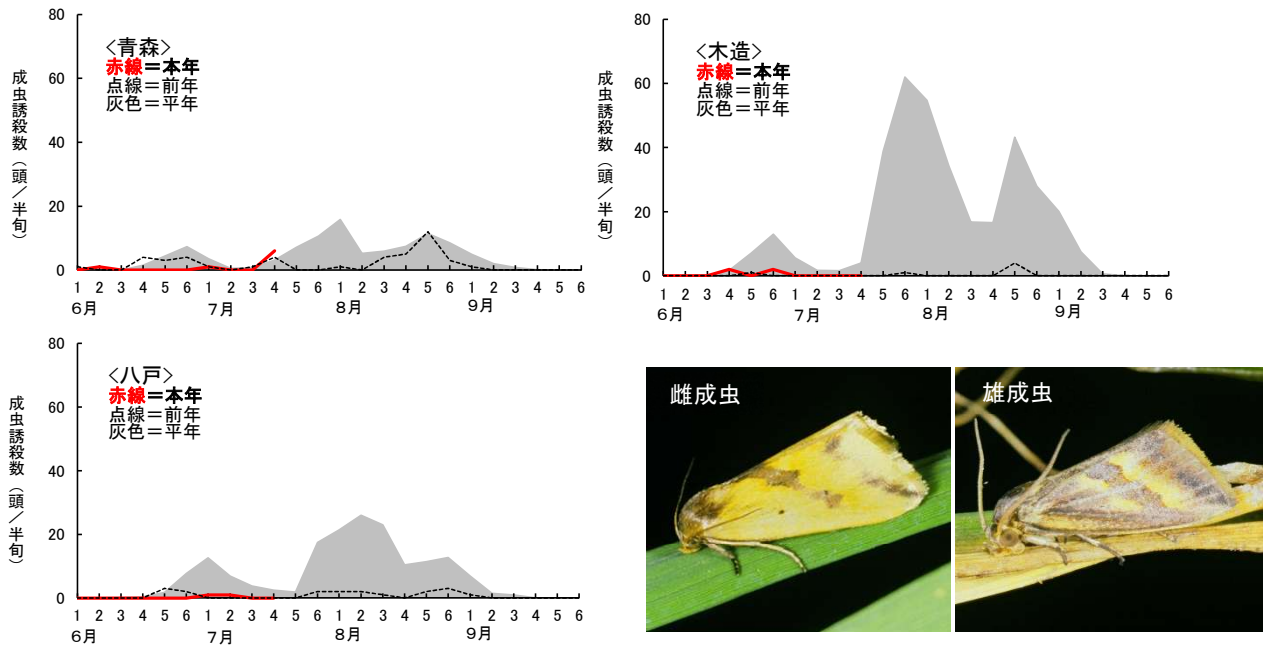


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値(7月12~14日)を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値(7月7~14日)を含む。

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、十和田が7月4半旬に平年より多く、その他の地点が平年並~少なく推移している。

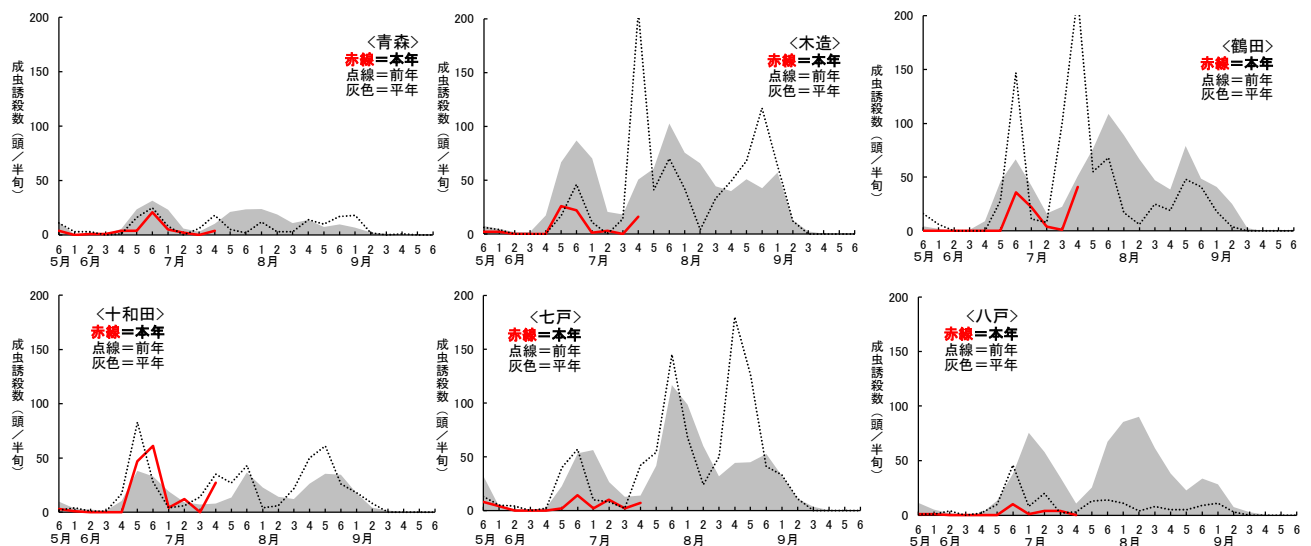


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 担当：主幹 菊池 晴志

〒030-0113 青森市第二間屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900